

草の根 通信

VOLUME
122

Kusanone Tsushin

[2025年3月発行]

Voyage record
John Mung



特集

寄稿：「ジョンマン・ボートステイラー」 櫻井敬人 氏

サンフランシスコ・バイエリア大会オプショナル・ツアーを楽しむヒント

万次郎関連団体のご案内「ジョン万コーヒー」

オハイオ大会・和歌山大会の参加者の声

中浜万次郎国際協会理事でありニューベッドフォード捕鯨博物館顧問学芸員でもある櫻井敬人氏が2025年1月に和歌山大学にて講演された内容の一部を寄稿していただきました。中浜万次郎が捕鯨船に乗ったときの役職と報酬についてとりあげ、当時の様子を丁寧に解説されました。

櫻井敬人氏

NPO法人 中浜万次郎国際協会理事
ニューベッドフォード捕鯨博物館顧問学芸員
太地町歴史資料室

ジョンマン・ボートステイラー

アメリカの捕鯨船に副船長という役職はない。しかし万次郎はフランクリン号の副船長になったと広く信じられており、それは万次郎の長男である中濱東一郎が以下のように『中濱萬次郎傳』の中で記しているからであろう。

「かくて本船は船長を失ひたれば、乗組員中より新に船長を選ぶこととなり、投票の結果、萬次郎とエーケン二人が選に當りしも、萬次郎は此時二十二歳なりしかば、衆議によりエーケンを船長とし、萬次郎を副船長として、七月上旬マニラ港を出帆したり。」

アメリカ捕鯨史の泰斗スチュアート・フランク博士は、ジョン・マンは船の「副船長」ではなく、船に積載されていた数隻のボートのうちの一艘の「ボートステイラー (Boatsteerer)」に昇進したが、それはボートの責任者に次ぐ地位なので、いわば「サブ・キャプテン (Sub-captain)」ともいえ、それが「副船長」と誤って理解されたのであろうと述べている。フランク博士の主張を解説するのが本稿の目的で、そのためにアメリカの捕鯨船員の報酬と階級について説明する。

名前	階級	レイ
IRA DAVIS	CAPTAIN	1/17
ISSACHAR H. AKIN	MATE	1/27
JOSEPH ALDEN	2nd MATE	1/40
HENRY T. CHASE	3rd MATE	1/55
EDWARD D. REED	COOPER	1/55
FREDERICK S. PAMMAN	BOATSTEERER	1/80
GEORGE F. SILVESTER	BOATSTEERER	1/80
WILLIAM WEBSTER	BOATSTEERER	1/80
JOHN WINSTON	COOK	1/135
JOHN DOLEN	SEAMAN	1/140
JOHN MUNG	STEWARD	1/140
JACOB MYERS	SEAMAN	1/145
LEANDER OSBORNE	SEAMAN	1/145
WILLIAM H. SMITH	ORDINARY	1/160
F RANCIS SILVIA	ORDINARY	1/160
CORYDON E. PAGE	GREENHAND	1/170
GEORGE B. CHILDS	GREENHAND	1/170
ADDISON HAZEN	GREENHAND	1/170
ISAAC D. HOLT	GREENHAND	1/170
D.C. SMITH	GREENHAND	1/170
JOHN P. JR. WEST	GREENHAND	1/170
PHILIP WILLCOX	GREENHAND	1/170
JOHN SNOW	BOY	1/180
JOHN E. SMITH	BOY	1/180

◆ 捕鯨船員の報酬

海軍や商船と同様に、アメリカ捕鯨船員の階級は制度化されており、それぞれの権限と役割は明確であった。捕鯨船上で船長に次ぐ地位にあるのは一等航海士 (1st mate) で、航海を学んだ三等または四等航海士がさらに乗船経験を積み、二等航海士を経てたどりつく職位である。フランクリン号には航海術を身に付けているものがジョン・マンの他に4名あると『中濱萬次郎傳』には書かれている。土佐藩による調査報告書というべき『漂客談奇』には「船中に海上測量に達し候者は私共に五人計り有之始終楫をとり申候」とあり、このことを裏付けている。4名はすなわち船長と、一等から三等までの3名の航海士と考えられる。

ジョン・マンがフランクリン号で与えられた職位は、船長を補佐し食料や鯨油などの積荷の管理に責任を持つスチュワードであった。それはシーマン (Seaman 水夫) より上位である。ジョン・マンがジョン・ハウランド号で身につけた経験と、フェアヘイブンの樽屋ならびに海事学校で学んだ知識が評価されているのである。ただしスチュワードは、航海士さらにボートステイラー (Boatsteerer ボートの舵取り) より下位である。ボートステイラーに任命されるのは経験を積んだ水夫である。

当時の捕鯨船員の報酬は出来高払いであった。捕鯨成績が良ければ報酬も増えるので船員の労働意欲を高める効果がある一方で、成績が悪ければ報酬は減るので船主や出資者には好都合であった。乗船に先立って船員が署名する契約書には、報酬金額ではなく、「レイ (Lay)」と呼ばれる分数が記されていた。レイとは、船員に分け与えられる報酬総額のうち、各船員が受け取る割合のことである。階級によって取り分に差があり、アイラ・デイビス船長のレイは1/17で最も多かった。船員報酬総額の17分の1を受け取るという意味である。逆に一番少なかったのはボーイ (Boy 雑用係) として乗船したジョン・スノーとジョン・スミスで、彼らのレイは1/180であった。レイは航海ごと、船員ごとに交渉されるもので割合は変動する。船員は航海中に船上で買った煙草や薬、衣服などの売掛金を下船時に精算しなければならず、往々にして下級船員の手取りはわずかで、ややもすると借金が残った。

◆ 捕鯨の人員配置

スチュワードよりも下位で報酬が少なかったのは2名のシーマン、2名のオーディナリー (平水夫)、7名のグリーンハンド (Greenhand 新米水夫)、2名のボーイである。スチュワードよりも上位で報酬が多かったのはクック (Cook 料理人)、3名のボートステイラー、クーパー (Cooper 樽職人)、3名の

▶ニューベッドフォード図書館前に1913年に建てられたハプナー（ボートスティーラー）の像。"A Dead Whale or A Stove Boat"（「死んだクジラか、壊れたボートか」）という題辞が過酷な実態を端的に表現している。

航海士、そして船長である。捕鯨船の目的はただ一つ、クジラを捕りまくって船倉を鯨油樽で満杯にすることなので、油が漏れない堅牢な樽を作るクーパーの報酬は三等航海士と並んで高かった。そのことを知っていたのでジョン・マンは樽職人に弟子入りしたのである。彼はクーパーと一緒に鯨油樽の管理を担当したであろうし、樽作りで得た木工の知識は木造帆船上のあらゆる場所で活かされたに違いない。

階級名のうち、ボートスティーラーだけは、捕鯨船上ではなく、捕鯨に積載され捕鯨ボート上での役割が表現されている。クジラが発見されると船からボートが海面に降ろされ、船に残る少数の船員を除いて、ボート一艘につき6名が乗り込む。ボートの舵をとるのがボートスティーラーで、経験豊富な水夫が務める。ただし追鯨の段階でボートの舵をとるのはボートヘッダー（Boatheader ボート長）で、船長または航海士の役割である。ボートヘッダーとボートスティーラーを混同してはならない。まずボートスティーラーは船首に座ってオールを漕ぎ、クジラに接近すると鉋を手に取る。ボートスティーラーは同時にハプナー（Harpooner 鉋打ち）なのである。

やがてクジラが衰弱すると、船首にいたボートスティーラー/ハプナーは船尾に向かい舵を取る。（ハプナーがボートスティーラーと呼ばれる所以である。）船尾にいたボートヘッダーは舵から離れて船首に移動し、ランス（Lance 槍）を繰返しクジラに突き刺す。この危険な作業は責任者たるボートヘッダーでなければ務まらない。ボートスティーラー/ハプナーとボートヘッダーは、鉋綱を足に絡ませないように素早く慎重に狭いボート内ですれ違い、位置を変わった。フランクリン号では、船長を含む4名の航海士が、ボート上ではそれぞれ序列1位のボートヘッダーとなる。序列2位のボートスティーラーも3名いた。ジョン・マンは、捕鯨船上ではステュワードだが、ボート上では序列3位のシーマンであった。他の3名のシーマンのうち、ジョン・ドーレンのレイはジョン・マンと同じ1/140で、残りの二人のレイは1/145であることから、ジョン・マンを含めた4名のシーマンのうち、ジョン・マンとドーレンは上級のシーマンとして認められていたことになる。

さてフランクリン号のデイビス船長が発病してマニラで下船すると、一等航海士のエイケンが船長に就任し、以下も順序を追って昇進したはずである。4名のシーマンのうち、ボートスティーラー/ハプナーに昇進する資格を有していたのは、同じレイを有するジョン・マンかドーレンのどちらか一人であった。『漂異紀畧』には、「既に船頭を托りし船老エイケン船頭に代り、船上を首領し」とあり、エイケンが船長になったことは書かれているが、ジョン・マンの昇進には触れていない。興味深いのは『難船人歸朝紀事』（高知市立市民図書館蔵）の記述で、「おやち役の者船頭に成り、萬次郎も鯨突になり



て六月此處出帆す」とある。「鯨突」は、日本では「はざし（羽差、刃刺）」と呼ばれた鉋打ち、つまりアメリカの捕鯨ボートにおけるハプナー/ボートスティーラーである。

◆ハプナー/ボートスティーラーの重責

万次郎は明治31年（1898）に亡くなるまでに、ついぞ息子に多くを語らなかったという。ただし東一郎は、万次郎が鳥島に近づいた外国人のボートまで泳いだ話や、咸臨丸の運航を任された話などを『中濱萬次郎傳』のなかで紹介し、「著者が實父より聞きし實話なり」などと注釈を書き添えている。副船長になったという話を、父は息子にどう語ったのだろうか。副船長説を裏付ける資料は同書中に記されていない。

引き続き残る謎は、投票が行われたと書かれていることである。当時、捕鯨航海中には頻繁に事故が起こり、嫌気がさした船員の逃亡も珍しくなかった。病気になった船長がマニラにあるアメリカ政府の出先機関に預けられたことから、残された船員たちが所定の手続きを踏んだことが分かる。アメリカでは国民が大統領を選ぶと知って当時の日本人を驚かせたが、海に出れば自己完結性が求められる船の世界は今も昔も階級社会である。選挙によるジョン・マンの異例の出世を、彼より上位のボートスティーラーと航海士の6名が静観したのだろうか。契約済みの階級と報酬をご破算にする選挙を、陸で待つ船主が許したのだろうか。

フランク博士は以下のようにも述べている。「船員たちは最も頼りになる人物をボートスティーラーに選ぶ。それがヤンキー捕鯨の真の流儀であった。全船員の暮らしは、その男の技術、勇気、そして確固たる意志にかかっているからだ。彼らが選んだ男こそ万次郎であった。」ジョン・マンが副船長でなかったとしても万次郎の真価は揺るがない。むしろボートスティーラーつまり鉋打ちに選ばれたことを正当に評価することがジョン・マンの理解において重要である。



サンフランシスコ・バイエリア大会オプショナル・ツアーを楽しむヒント



6月4日(水) ローカル・オプショナル・ツアーのご案内

サンフランシスコ市内の文化や歴史に触れていただくためのローカルツアーです。

いずれもサンフランシスコを象徴する観光名所です。各コースの観光名所をご紹介します。



Aコース



Japanese Tea Garden (日本庭園)

ジャパニーズ・ティー・ガーデンは、サンフランシスコのゴールデン・ゲート・パーク内にある美しい日本庭園です。この庭園は、1894年に開催されたカリフォルニア・ミッドウィンター国際博覧会の一環として設立されました。公共の日本庭園としてはアメリカで最も長い歴史を持ちます。庭園の設計には、日本から招聘された宮大工の中谷新七が関わり、最高級の資材を使用して造園されました。また、庭師として松本辰五郎が参加し、庭園の美しさを引き立てました。博覧会終了後、日本人移民の萩原真が庭園の管理人となり、1895年から1925年まで庭園を運営しました。萩原は庭園のために日本から金魚や桜などの動植物を取り寄せ、庭園の拡充と整備に努めました。彼の努力により、現在の美しい景観が形成されました。第二次世界大戦中、萩原家は強制収容所に移送され、庭園は「オリエンタル・ティー・ガーデン」と改名されました。戦後、庭園は「ジャパニーズ・ティー・ガーデン」の名を取り戻し、現在も多くの人々に愛されています。この庭園は、異なる文化が交わることで生まれる美しさと驚きを象徴しています。

Bコース



アルカトラズ島

アルカトラズ島は、サンフランシスコ湾に位置する小さな島で、歴史的に重要な場所です。アルカトラズ島の歴史では、1850年代にアメリカ政府によって軍事要塞として使用されました。島の位置は戦略的に重要であり、サンフランシスコ湾の防衛に役立ちました。そして、1934年から1963年まで、アルカトラズ島は連邦刑務所として使用されました。この刑務所は、脱獄が非常に困難とされ、アル・カポネやロバート・ストラウド（バードマン・オブ・アルカトラズ）などの有名な犯罪者が収容されました。刑務所が閉鎖された後、アルカトラズ島は観光地として一般公開されました。現在では、毎年多くの観光客が訪れ、島の歴史や刑務所の遺構を見学しています。島の自然環境は、鳥類の保護区としても知られており、多くの海鳥が生息しています。また、島の周囲には豊かな海洋生態系が広がっています。また、文化的意義は、アメリカの歴史や文化において重要な場所であり、多くの映画や文学作品の舞台となっています。また、1969年から1971年にかけて、アメリカ先住民による占拠が行われ、先住民の権利運動の象徴ともなりました。アルカトラズ島は、その歴史的、文化的、自然的な価値から、多くの人々に愛され続けています。

共通

咸臨丸メモリアル 万次郎ゆかりの地：咸臨丸メモリアル

万次郎は日本への帰国を果たす際、サンフランシスコ北東部のゴールドラッシュでハワイに残る仲間と日本へ帰るための資金を得て、サンフランシスコから帰国の途に就きました。その後、万延元年遣米使節団の随行艦「咸臨丸」に通訳として乗船し、艦長の勝海舟や福沢諭吉らと再度この地を訪れています。2025年は遣米使節団と咸臨丸のサンフランシスコ来航より165年となります。



萩原真とフォーチュンクッキー

はぎわら まこと

萩原真は、日本の庭師であり、フォーチュンクッキーの歴史においてそのきっかけとなった人物です。彼の物語は、文化の交差点で生まれた一つの小さな菓子が、どのようにして世界中に広まったかを示す興味深い例です。

萩原真は、サミットのローカルツアーの一つであるサンフランシスコのゴールデン・ゲート・パーク内にある日本庭園を設計・運営していました。彼は日本の伝統的な庭園の美しさをアメリカに紹介することに情熱を注いでいました。彼の庭園は、訪れる人々にとって静寂と癒しの場所となり、多くの人々がその美しさに魅了されました。

つじうらせんべい

ある日、萩原は日本の伝統的な辻占煎餅をアメリカに持ち込みました。この煎餅は、二つ折りにして中に短い言葉を表記した紙を入れた形状をしており、神社で新年の祝いに配られていたものでした。萩原はこの煎餅を訪れた客にお茶請けとして提供し、アメリカ人に広まりました。



◀ 辻占煎餅を焼く様子

『藻汐草近世奇談・3 編下之巻』篠田仙果 編 [他] (青盛堂, 1878) より

出典：ウィキメディア・コモンズ (Wikimedia Commons)

▶ フォーチュンクッキー

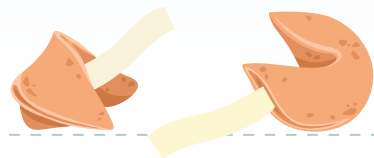
出典：ウィキメディア・コモンズ
(Wikimedia Commons)



フォーチュンクッキーの起源については諸説ありますが、萩原真がこのお菓子をアメリカに紹介したことが、現在のフォーチュンクッキーの形を作り上げる一因となったことは間違いありません。彼の庭園で提供された辻占煎餅は、アメリカ人にとって新鮮で興味深いものであり、その後、中華料理店で提供されるようになりました。

第二次世界大戦後、フォーチュンクッキーはアメリカの中華料理店で広く提供されるようになり、今日ではアメリカ文化の一部として広く知られています。萩原真の小さな行動が、文化の架け橋となり、フォーチュンクッキーというお菓子が世界中に広まるきっかけとなったのです。

萩原真の物語は、文化の交流と理解がどのようにして新しいものを生み出すかを示す素晴らしい例です。彼の庭園とフォーチュンクッキーは、異なる文化が交わることで生まれる美しさと驚きを象徴しています。



万次郎関連団体より

一般社団法人ジョン万スピリット研究会

ジョン万コーヒーのご紹介

新しくジョン万にインスパイアされた団体が立ち上がり、オリジナル商品の開発に取り組まれていますのでご紹介します。

● ジョン万スピリット研究会とは

私たちは、幕末の英傑「ジョン万次郎（中濱万次郎）」の生き様である「最後まで諦めない精神」、「チャレンジし続ける精神」に共感し、一般社団法人ジョン万スピリット研究会を設立しました。「ジョン万スピリット」からの学びを社会に還元することで、ジョン万次郎の生誕の地である 高知県土佐清水市をはじめ、国内外の活性化に寄与する団体を目指します。さらに、オリジナル商品の販売や活動による収益の一部をジョン万次郎直系家系の活動資金としてサポートし、未来へそのスピリットを継承していきます。そして、オリジナル商品の第一弾として、コーヒーを発売します！

● なぜ「コーヒー」なのか？

一説によるとジョン万次郎は日本人で最初にコーヒーを飲んだ人とも言われ、コーヒーとは切っても切れない人物です。アメリカから日本へ帰国した際に、最初にしたことはコーヒブレイクとも言われております。慌ただしい世の中「ジョン万コーヒー」を通じ、ちょっと一息ついたその時に、少しでもジョン万次郎の精神を思いながら一日を過ごして欲しい！そう願い、商品化を決意しました。



▲ 第10回ジョン万サミットへの参加
in 土佐清水

▼ 中濱京氏も交えてオリジナル
コーヒー作成に向けた試飲会にて



● 商品化の相談相手は

「コーヒーハンター 川島氏」率いるミカフェート

「コーヒーで世界を変える」をミッションに、一杯の美味しいコーヒーを求め、世界中を飛び回る川島氏はまさに、現代のジョン万次郎です。さながら捕鯨のため世界中を航海したジョン万次郎のように、熱い情熱を胸に活動をされています。そんなミカフェート代表川島氏が手掛けるコーヒーには、ジョン万次郎の精神を体現する力がある！そう思い、商品化を打診しました。

● 商品化に向けて奮闘中！

2025 年 6 月発売を目標に、コーヒー豆とパッケージデザインを考案中です。高知県はもとよりジョン万次郎に関連する団体、オンラインなどで今後は販売して行きたいと考えております。また、ロサンゼルスといったジョン万次郎ゆかりの地アメリカも視野に画策中です。皆さんも、ジョン万コーヒーを飲みながら、「最後まで諦めない精神」、「チャレンジし続ける精神」を胸に一日をスタートしてみたいはいかがでしょうか？

ジョン万スピリット研究会のサイト：<https://www.johnmungspirit.or.jp>

第33回日米草の根交流サミット 2026 開催地決定！

フィラデルフィア大会

2020年にコロナ感染拡大のためキャンセルとなったフィラデルフィアでのサミットがついに実現に。広域フィラデルフィア日米協会 (Japan America Society of Greater Philadelphia) の全面的なご協力により準備を進めています。

アメリカ建国 250 年となる記念の年に、アメリカ憲法が宣言された建国の地で日米友好を祝いましょう！

会期：2026 年 10 月下旬

詳細は後日発表



サミット大会参加者の声

第30回 オハイオ大会



● 中山貴恵さん

自分なりの国際交流や異文化理解を模索し、30年以上前から始めたサミット大会への参加。知らない人が知っている人になって行く、そして友人となった人とは更に交流を深めて行くと言う機会に今年も恵まれた。草の根だからこそ繋がっていく面白さや新しい発見は、交流を通してより味わい深くなった。自ら発信し、お互いに理解しようと努める事の意義が、ホストの方達と生活をする中でより確かなものとなったと言う手応えがあった。4日と言う短期間ではあるが、ホストから『あなたとは価値観が同じだ』と言われた時は、国や言葉を超えて、旧来の友人の様に理解し合えた実感した。5年ぶりの開催となり、三機を乗り継ぎアメリカの空港に降り立った時、やっと待ち遠しかったこの地を踏んだとワクワクが止まらなかった。昨年父島でのフォーラムで会った方達との「OHIO」「COLUMBUS」の合言葉に導かれ、再会出来た事、大切な新しい出会いが加わった事は、私にとってまた大きな財産となった。第1回から休む事なく全大会に参加出来たのも、家族の理解、自身の健康、そして何よりも好奇心を持ち続けた事があればこそと感謝で一杯である。いつもの大切な言葉 Keep in touch！を添えて。



第31回 和歌山大会

● Nick Loewen さん ホームステイ：田辺市

ホームステイの経験は本当に素晴らしいものだった！私たちはホームステイ先の家族と本当の友達になり、後日、日本旅行中に再び彼らを訪れた。田辺でのツアーイベントも素晴らしかった。ツアーガイドは、雨のためにスケジュールを変更してくれたり、グループのみんなが熊野古道をハイキングしたいと言ったので、その方法を見つけてくれたりと、それ以上のことをしてくれた。



● Mike Lewis さん ホームステイ：和歌山市

地元のセッション・グループでは、記録するのが大変なくらいたくさんのことをやった。とても楽しかったし、勉強になった。ホームステイ先の家族は本当に素晴らしかった。和歌山の関係者全員、そのホスピタリティは表彰に値する。



● Bob Miesionczek さん ホームステイ：白浜町

ホームステイは素晴らしかった。着物や藍染め、日本料理などのアクティビティへの個人参加は大ヒットだった。



● Amanda Scheetz さん ホームステイ：橋本市・串本町

どのアクティビティも楽しかった。ありがとう！
ホストファミリーは私たちととても相性が良かった。



Japanese Hospitality Wherever You Fly



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan



株式会社アイシン
AISIN CORPORATION



株式会社紀陽銀行
The Kiyo Bank, Ltd.



ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.



豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.



豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation



株式会社ニフコ
Nifco Inc.



富士通株式会社
Fujitsu Limited



株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking Corporation



公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI FOUNDATION



愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION



株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION



株式会社デンソー
DENSO CORPORATION



トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION



トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES CORPORATION



日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.



ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.



株式会社宮本工業
MIYAMOTO INDUSTRY CO., LTD

北海道通信ビル株式会社
HokkaidoTsushinBldg Co.



株式会社オーハシテクニカ
Ohashi Technica, Inc.



全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.



株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.



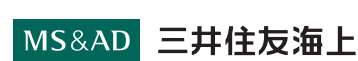
株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation



トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU CORPORATION



深田電機株式会社
FUKADA DENKI



三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance Company, Limited



明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Company



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : <http://www.manjiro.or.jp>